

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部近況報告

支部名	活動報告など
1 鶴見	<p>コロナ禍の状況にあり現在具体的な活動は行っていない状況です。                      会員の異動状況は11月に鶴見区防災課より新規入会希望が1名ありましたので入会を受付ました。                      さらに現在も新規入会希望者が1名あります。                      昨年の11/23ですが、永年にわたり非常通信協力会本部監事の要職にありましたJA1JFT薄井啓一氏がサイレントキーとなりました。</p>
2 神奈川	<p>R3年度の活動は超低調です。                      ・防災訓練への参加実績は、子安小学校と神奈川区役所間での防災・通信訓練（4名参加）でした。                      ・右近さん、松井さん、木村さん、土田さん、梅田さん、金子さん、片野さん、加藤さん、高崎は各コンテストにアクティブに参加し常に電波が出ています。                      ・区役所に用事があった際に設備点検を実施しています。</p>
3 西	<p>昨年同様に支部としての活動はありません。                      各防災拠点での役員会には個人参加で対応。                      数ヶ月おきに区役所で無線機の電源を入れてチェックしています。</p>
4 中	<ol style="list-style-type: none"> <li>支部役員（4名）の変更はありません。（支部長・副支部長・理事2名）</li> <li>支部員数は、令和3年度末21名から令和4年1月末26名に増加しました。</li> <li>支部総会は、コロナ禍を勘案し前年同様のオンエア・QSO総会を開催。（6/27）</li> <li>支部会計の累積赤字解消のため、総会決議で年会費徴収を復活しました。（令和3年度1,000円、以降年間500円）</li> <li>月例通信訓練は毎月第一日曜日20：30～145.20MHz 毎回10局以上の参加。                          なお、関東近県で震度4程度の地震発生時は直後に臨時の通信訓練を実施。</li> <li>中区役所からマリンFM(86.10MHz)への災害時緊急割り込み放送訓練に参加。                          同時にJR1YWG中区役所クラブ局と支部員各局の通信訓練を実施。（9/1）</li> <li>中区役所～福祉避難所間の情報受伝達訓練に区役所からの要請文書を受け参加。                          中区役所クラブ局開設、支部員の巡回・配置でデジ簡の現地指導を行う。（1/17）</li> </ol>
5 南	<p>ここ1年間は、新型コロナの影響で11月27日の永田中学校⇔南区役所での地域防災拠点通信訓練一カ所のみでした。                      また、毎月第1日曜日の20：00からのオンエアミーティングを実施しており、毎回10局前後の参加です。                      以上、複数人での会合が難しい1年間であった為、支部活動もままならない状況となってしまいました。</p>
6 港南	<ol style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続きコロナ禍の中で、多くの防災拠点では、感染防止の観点から、運営委員会の委員のみで訓練を行った拠点多く、アマチュア無線が区役所との間で情報受伝達訓練を実施したのは、31の地域防災拠点中6拠点に限られ、参加人員は延べ25名でした。</li> <li>横浜市役所と各区役所間のアマチュア無線電波伝搬調査を2022年1月28日に予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い中止となりました。</li> <li>活動予定として計画していた、静止画像伝送(SSTV)講習会やデジタル簡易無線機(デジ簡)の取扱講習なども、新型コロナウイルスにより実施できませんでした。</li> <li>支部員の無線機動作確認                          会員の所有する無線設備が正常に作動する事の確認を兼ねて7年半に亘って行っていた無線による会合（オンエアミーティング）は、延べ78回開催されましたが、諸般の事情もあり2021年11月をもって一旦休止する事となりました。</li> <li>理事会の開催                          コロナ禍における、理事会をリモート会議（Zoom使用）で実施し、運用には多少の慣れが必要と感じましたが、その実用性を確認できました。</li> <li>支部長交代                          支部総会（書面）において支部長交代が承認され、2022年1月から太田繁喜が新支部長に就任いたしましたので報告すると共に、従前にも増してご指導・ご協力をお願い致します。</li> </ol>
7 保土ヶ谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月24日総会の開催。（区⇒1名、会員⇒9名参加）役員選出・規約制定</li> <li>11月4日地域防災訓練（川島小学校）参加</li> <li>電波伝搬調査は中止となった。（無線機の故障が判明し修理手配処理）</li> <li>毎月第一日曜日にロールコールの実施</li> <li>区の広報誌にてボランティア募集し2名の新規入会となった</li> </ul>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部近況報告

支部名	活動報告など
8 旭	<p>私は令和2年度の横浜市アマチュア無線非常通信協力会旭区支部定時総会において支部長に選任されました。支部長をお請けするに当たり掲げた運営方針は、「愉快的なYWK」です。</p> <p>旭区役所局のコールサインがJR1YWKであることから、仲間内では「横浜市アマチュア無線非常通信協力会旭区支部」のことを「YWK」と略称しています。</p> <p>「愉快的」というと「面白おかしく」と受け取られるかも知れません。それも「愉快的」ことのひとつではあると思いますが、それがすべてではありません。</p> <p>訓練に参加することが楽しい、仲間を互いにリスペクトできる、YWKメンバーであること、その活動に参加できることを誇りに思える……。そんな、YWKにしたいものだと思います。</p> <p>その為には、区役所担当者、YWKメンバー及び防災拠点運営委員会メンバーの皆様とお互いに知り合い、信頼できる関係を構築することが大切と考え、昨年4月に旭区長が交代されたのを機に新任区長を表敬訪問し、「アマチュア無線とは」、「災害時におけるアマチュア無線の有用性」、「YWKの歴史」、「組織、及び活動内容」等についてご説明しました。新任区長は前職で東日本大震災に職員を派遣する立場にあったとのことで、大規模災害時における通信の重要性を認識されており、話しが弾みました。</p> <p>区役所担当部門とは今までも情報を共有し良い関係にありましたが、今年度から担当部門である危機管理・地域防災担当係長にはYWKの役員会にも参加頂けることになり、今まで以上の信頼関係が構築できたと考えています。</p> <p>5月に開催された「旭区地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会」には例年通り出席して防災拠点運営委員長の皆様にYWKの説明をすることができました。また、これまでともすれば曖昧であった防災拠点の防災訓練内容を明確にするよう、区役所から説明して頂くこともできました。</p> <p>その他、支部長として可能な限り多くの防災訓練に参加しYWKメンバー及び防災拠点運営委員会メンバーとの協働を通して互いを知り合い信頼関係を構築する場とできるよう努めています。できるよう努めています。</p> <p>ところで、区内には、アマチュア無線による非常通信の重要性に理解の無い防災拠点運営委員長が居て、機材点検や免許更新に支障を来していました。</p> <p>幸い今年度その防災拠点委員長が交代したのを機に、区役所の担当係長の協力を得て、後任の防災拠点運営委員長と面談する機会を持つことができ、互いにリスペクトできる関係を築くことができたと考えております。</p> <p>「愉快的なYWK」にはまだ道半ばではありますが、これからも微力を尽くしていきたいと考えております。</p>
9 磯子	<p>磯子区支部は総会は隔年の実施であり、令和3年度は総会も役員改選も無い年でしたので、全て前年と同じ態勢での活動でした。</p> <p>新型コロナウイルス禍により地域防災拠点の防災訓練は部分的ですが毎月のロールコール隔月のミーティング、そして震度3以上の地震で時に情報収集して区役所へ報告する「出動態勢訓練」欠かさず実施し2021年は11回行いました。</p> <p>また、区役所の福祉保健課と連携して災害時の医療機関の業務状況を確認する「幟旗掲出確認報告訓練」を行いました。</p> <p>会員各位の感染防止を配慮しつつも、無線通信ではかんせんしないのでそれなりの活動をしています。</p>
10 金沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辰仁支部長ご逝去に伴い、深浦さんが支部長代理として来年度の役員改選まで支部長の業務を代行</li> <li>・来年度の支部総会の準備</li> <li>・感染状況が見通せないため、来年度も書面審査で総会を実施する方向で準備</li> <li>・地域防災拠点の訓練への参加状況</li> <li>運営委員会 7拠点、延べ参加会員数：15名</li> <li>防災訓練 8拠点、延べ参加会員数：24名</li> <li>・地域ケアプラザ 1か所</li> </ul>
11 港北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度港北区支部総会</li> <li>感染症拡大防止の為集会中止、報告と計画の承認を往復はがきとメールにより実施</li> <li>・区役所との協定書改訂</li> <li>災害時及び訓練における区と港北区支部の役割明確化のため協定書を改訂</li> <li>区は無線機材の維持管理、港北区支部は区からの要請に基づく無線通信を行う</li> <li>・地域防災拠点受伝達訓練</li> <li>2021年度は感染症対策影響にて29拠点中12拠点のみ実施</li> <li>(港北区の地域防災拠点は本年度より箕輪小学校が新たに加わり29拠点となった)</li> <li>・医師会連携</li> <li>2021/12/19 港北区医師会実施の医療救護隊訓練にて港北区役所局運用対応</li> <li>・ロールコール</li> <li>2021/4～2022/1各月2回計20回、通算268回連続実施</li> </ul>
12 緑	<p>本年度は新型コロナの影響でほとんどの予定が中止となりました。</p> <p>地域防災拠点訓練が実施できたのは10月と11月の2拠点のみでした。</p> <p>また1月に延期した4拠点名オミクロン感染拡大により延期または中止となり2月に延期した拠点についても中止の可能性が有ります。</p>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部近況報告

支部名	活動報告など
13 青葉	<p>1) コロナの影響                      訓練は軒並み中止ですが、11-1月の間はいくつかの拠点で実施できました。                      やはり、私たちの活動は現地での対応が拠点の皆さんとのつながり続ける大きな力になると感じています。                      ただ、このような状況の中、拠点の情報通信の仕組みだけは確認しておこうという気運もあり、支部員がアマチュア無線だけでなく、市防災行政無線や医療用のMCA無線、NTTの特設公衆電話等の利用方法やルールなども一緒に確認する内容の訓練は続けられています。こうした取り組みには、区総務課防災係や区福祉保健センター、区医師会・歯科医師会などの支援や応援が実を結んだ結果です。                      また、訓練が無い分、総務課や他組織との業務整理等が進んできていることも挙げられます。例えばこれまで災害時の区役所入局は個別整理だったものが、非常通信の帽子と支部員証で入庁できるように区総務課と整理しました。この後も災害時の整理を続けていきます。</p> <p>2) 人員は少しずつですが伸びています。                      残念ながらSKとなられたOMもいらっしゃいましたが、支部内ブロックの努力もあり増加を続けています。                      ただ、青葉区は41地域防災拠点がありますが、1/3が配置できない拠点になっています。                      今年度はその開拓に努め、新たな拠点との関係を構築するとともに、支部活動に協力してくださるアマチュア無線かも出てきており、増加しています。人員は総会時に報告します。</p> <p>3) 医療関係への取り組み                      青葉区は他区と災害時医療の対応が異なります(青葉区防災計画に規定)                      この運用には15年以上にわたる青葉区支部と区医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、看護師協会等との取り組みが背景になっています。                      41ヶ所の地域防災拠点の中で12ヶ所が災害時定点診療拠点に指定されており、医療従事者が震度6強以上の発生で対応することになっています。この関係でも、医療従事者と地域防災拠点をつなぐ役割としても双方の関係をつなぐ役割を果たしてきています。</p> <p>4) 青ベストの追加購入。(累計40着弱)                      8年前に購入した青ベスト(航空自衛隊仕様)のものですが、しばらく購入していませんでした。希望も多かったので、まとめて15着購入(個人負担)し展開しました。品質も良く、前回のもとの仕様(今回はDMAT仕様)は少し違いますが色も形も似ており、支部員に好評です。背中の青葉区支部のロゴは継続して同じものを提供しています。                      現在、青葉区支部の支部員を識別する装備は、帽子、青ベスト+背中ロゴ、腕章 のどれか、または全部を用いて活動しています。</p> <p>5) OAM毎週開催                      毎週OAMも継続しています。土曜日21時 438.34MHz                      参加は支部員平均25局、医師会等メディカル無線クラブ3-5局で毎週実施。                      来年からはもう少し内容もバラエティーにしようと検討しています。</p> <p>6) 地震発生時の安全確認。                      青葉区支部では、地震が発生した場合、青葉区周波数で自局の安全、周囲の状況などを報告する対応を続けています。概ね、毎年20-30回くらいです。今年は少し多めで、現在29回です。災害時には無線に出るという習慣をつけるのにも役立っています。                      このようなことで、防災イベントや訓練などは軒並み中止されていますが、支部員の工夫でさまざまな活動の中で地域との関係づくりを進めています。逆に言えばコロナだからこそできた関係づくりができてきたと考えています。                      今後、通常の訓練ができるようになったときには前記に加えてこれまでの地域拠点との関係も充実していくことが求められています。</p> <p>7) 毎月のZoom定例会実施。                      これまではリアルで実施してきたところですが、今年度は完全にzoomのみの定例会開催としました。                      ほぼ毎月実施。                      毎月、課題解決や基本事項の整理など、議論しています。                      来年度以降は勉強会などインプットになるものやもう少し、楽しめるものも入れていこうという提案を受けて検討中です。</p>
14 都筑	<p>1、防災拠点27のうち、                      ・通常通り拠点と区役所との無線交信を含む訓練実施5                      ・なんらかの形式で拠点訓練は実施したが非常通信協力会の参加なし5                      ・中止8                      ・不明または未定9</p> <p>2、その他の支部活動はその時期における感染対策に応じて、会議や会合はオンライン開催などを含めて例年通り実施します。</p> <p>3、区役所からの無線機配備は計画通り9台を受領済。</p>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部近況報告

支部名	活動報告など
15 戸塚	<p>1. 地域防災拠点訓練の状況                      コロナウイルス感染防止のため、35拠点のほとんどが運営委員会のみでの訓練実施となっています。このうち通信訓練の要請が9か所、当支部で対応済み拠点は8か所、3月13日の実施予定が1か所という状況です。</p> <p>2. その他の訓練状況                      戸塚区支部では、発災時の初動通信訓練とメンバー局の機器動作確認を目的として、各月の第1および第3日曜日にロールコールを継続しています。</p> <p>3. 戸塚区支部の統制周波数変更                      アマチュア無線をボランティア活動に使うにあたり、使用する周波数についてもJARLからガイドラインとして推奨条件が明示されました。これに則り、遅ればせながら当支部でも統制周波数を旧来の周波数（433.46MHzおよび、145.46MHz）から変更する方針を決定しました。ガイドラインの他、他区支部の統制周波数や、各周波数の使用状況などを考慮の上、候補周波数として、「438.54MHzおよび(予備の統制周波数として)145.54MHzを選定しました。現在、この周波数で上記のロールコールおよびメンバー間の定期ミーティング等を実施し、問題の有無を確認中で、4月末を目途に結論を得ようと計画しております。</p>
16 栄	<p>1. 区内電波伝搬調査                      当支部の会員数は現在32名。従来から発災時には①自身・家族の安全確保、自宅被害状況の確認、無線設備の立上げ、②自宅周辺被害状況(幹線道路の通行可否、トンネルや橋梁の崩落・倒壊、広域火災の発生)の確認と支部内の情報共有、地区災害対策本部への報告などの初動を行ったのち、③地域防災拠点を巡回し必要に応じて(防災無線や通常回線が使えないなどの状況)アマチュア無線で地区災害対策本部への情報連絡を行うという方針を立てていた。会員数が少ないので長期間にわたる地域防災拠点への常駐は不可能と判断したため。これまで、20か所の地域防災拠点と区役所局の間の電波伝搬調査を毎年実施してきたが、2021年度は高齢者・障がい者など、より災害弱者が在住もしくは避難する、なおかつ防災無線などが配備されていない福祉避難所(高齢者施設・地域ケアプラザ・障がい者施設等旧特別避難所)では、より支援のニーズがあるのではないかと支部内議論に基づき、福祉避難所を初動後の巡回対象に加える支部方針の改訂を行った。2021年度は5月16日に会員17名の参加で、区内24か所の福祉避難所と区役所局の間の電波伝搬調査を実施し各地点とも問題なく交信できることを確認した。巡回を想定しているので福祉避難所側の移動局はハンディ機、付属ホイップアンテナを使用した。地域防災拠点への電波伝搬調査とともに今後もこの活動を継続する。</p> <p>2. 出動態勢訓練                      先行して実施されていた磯子区支部などの例に倣って、2012年5月から市内最大震度が3以上の地震が発生したときに、上記1. 項記載の①②(初動)を実施し無線で情報を共有する出動態勢訓練を実施してきた。(2021年末までに64回実施)                      これまでの年間実施回数は以下のとおり。                      2012年 8回(5月～12月)、2013年10回、2014年 5回、2015年 3回、2016年 9回、2017年 5回、2018年 2回、2019年 6回、2020年 5回                      2021年の年間実施回数は11回と東日本大震災後の数年に匹敵するほど多かった。参加延べ人数は99名。</p> <p>3. オンエアミーティング                      毎月第一日曜20:00からおよそ30分間、430.24MHz FMでオンエアミーティングを実施している。原則商用電源を用いずバッテリーなどの非常用電源を用い、相互にレポート交換を行って無線設備が正常に稼働していることを確認する、最新の情報交換を行う、終了後に非常用電源のフル充電を行い発災時に備えることなどが目的。                      2021年は年間に12回のオンエアミーティングを実施、延べ参加人数は102名。</p> <p>4. 支部非常通信討論会                      2012年度から年に1～2回、支部非常通信討論会と称して、防災減災、非常通信、アマチュア無線技術などに関する勉強会や関連した討論を行うイベントを開催してきた。これまでに取り上げたテーマは、次のとおり。                      ● 被災体験：阪神淡路大震災などの現地体験談、市消防職員による災害派遣における実体験講演                      ● 支部方針(討論と策定)：発災時支部行動指針と発災後シナリオタイムテーブル                      ● 実技・実習：高効率移動用アンテナ製作教室                      ● 勉強会：電波法関連法規と改正動向、SDR、SSTV、D-STAR/FT8ほかデジタル通信、デジタル日本語文字通信、ドローン、トリクル充電器、ウイルス感染症                      実施後に毎回懇親会を開催して会員相互の親睦を図ることも第二の目的であったが、2020年度に引き続き2021年度もコロナ禍のため開催できなかった。</p> <p>5. 支部年度総会                      毎年3月下旬に区役所会議室に会員参集のうえ開催してきたが、2019年度、2020年度はコロナ禍を受けてメールのやり取りにより実施。当年度活動報告、次年度役員人事、次年度活動計画について意見交換と審議を行った。2021年度も2022年3月下旬開催を予定しているが、コロナウイルス感染の拡大状況によって対面開催かメール審議かを適切に判断する予定。</p> <p>6. 特記事項                      本部主催の市役所局/区役所局間電波伝搬調査の折に併せて依頼される無線設備現況調査に関しては、これまで測定器(SWR計)を会員から借用して実施してきた。無線設備の点検はいざという時の備えという意味で重要であり、また継続して定期的実施する必要があると支部で判断。1200MHz帯まで利用できるSWR計を購入した。支部の資産として管理し、希望があれば支部会員に貸出しを行うこととした。                      2021年の退会者3名、入会者2名。ここ数年の退会理由は、高齢化と転居、病気療養など。</p>

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2021年度支部近況報告

支部名		活動報告など
17	泉	年間のイベントや訓練などがコロナ感染防止のため、中止が相次ぎ活動が思うようにいきませんでした。11月には泉区防災フェアが行われ、地域の防災拠点や町内会などに対して情報伝達の重要性をPRしてしました。また、会員間の久しぶりのアイボールを楽しみました。
18	瀬谷	コロナ対策のため、特に活動は行わなかった。